

平成25年度 第2回太田地域協議会 会議録

■日 時 平成25年7月30日（火曜日） 午前10時00分～

■会 場 太田庁舎 2階 会議室

■出席委員（11人）

石 崎 尚委員 伊 藤 勝 良委員 大信田 孝 文委員 柏 谷 良 雄委員
高 橋 悟委員 小 柳 真理子委員 鈴木 栄 子委員 高 橋 文 子委員
高 橋 清一郎委員 富 木 勇委員 水 谷 英 明委員

■欠席委員（5人）

小 松 泉委員 小 松 昌 之委員 高 貝 恵 子委員 高 橋 洋委員
根 本 昇委員

■出席職員（太田支所関係）

草 薨 均（太田支所長） 高 橋 正 由（市民サービス課長）
佐 藤 朗（農林建設課長） 小 松 孝 勝（太田公民館長）
福 原 幸 二（市民サービス課参事） 黒 澤 伸 朗（市民サービス課副主幹）

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - ・地域枠予算執行事業について
- 6 その他
- 7 閉会

●開会（高橋市民サービス課長）

皆さん、おはようございます。本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から平成25年度第2回太田地域協議会を開会いたします。

会を始めます前に、次第にはございませんが川原猪利委員が6月30日をもって辞任されました。新たに7月1日付けで秋田おばこ農協太田支店長であります高橋悟さんが太田

地域協議会委員に選任されましたので、支所長より委嘱状の交付をいたします。

●委嘱状の交付

草薙支所長が、高橋悟委員に委嘱状を交付

(高橋市民サービス課長)

高橋悟委員には、大変ご難儀をおかけしますが、よろしく願いいたします。それでは、会長からあいさつをいただきます。高橋会長、お願いいたします。

●会長あいさつ（高橋清一郎会長）

今日は、月末という大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。大変うれしいことがありました。太田分校の野球部が1回戦を突破し、そして2回戦も惜しい試合をした。応援に行きたかったなど残念に思います。この会も地域をいい方向にもっていくというような会議ですので、どうかよろしく願いいたします。

(高橋市民サービス課長)

ありがとうございました。続きまして、草薙支所長があいさついたします。

●支所長あいさつ（草薙支所長）

(高橋市民サービス課長)

それでは、本日の案件に入りたいと思います。なお、会議録作成のため、発言の際はマイクを使用くださるようお願いいたします。本日の協議会は、委員の2分の1以上が出席しておりますので、本協議会は成立いたしますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては、条例の規定により高橋会長にお願いいたします。

●会議録署名委員の指名（高橋清一郎会長）

それでは、次第4の「会議録署名委員の指名」でございます。富木勇委員、水谷英明委員の両委員にお願いいたします。

●協議

(高橋清一郎会長)

それでは、次第5の「協議」に入ります。事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

地域枠予算執行について

- ・資料2 医療エリア街路樹移植事業
- ・資料3 東北地区高等学校親善招待野球支援事業
- ・資料4 シンボル花壇整備事業
- ・資料5 太田地域イベント用品整備事業
- ・資料6 大台スキー場基本計画作成事業
- ・資料7 太田の夏まつり支援事業

(高橋清一郎会長)

ただいま、地域枠予算執行事業につきまして、事務局より説明がありました。6事業で2事業はすでに執行済みという経緯がありました。そしてあとの4事業はこれから行うということの説明でありました。それでは協議に入ります。皆さんからご意見、ご質問よろしくをお願いします。

資料2と3の事業については執行しておりますので、一緒にふたつの審議を行います。皆さんから質問がありましたらお願いします。

(大信田孝文委員)

高校野球の親善事業は、いい方向に向かっていると思うし、復興支援も含めて、今回福島県からも招待されていると感じています。今後とも毎年定例的に進めていく事業と捉えていいものかどうか、ということと今回は主催が太田町生活リゾート株式会社ということで、太田の地域枠予算で支援しているが、太田以外の地域からの助成というようなものがあるのかどうか教えていただきたい。

(草薙支所長)

まず最初に前段ですが、引き続きこの事業は進めていきたいと考えています。この野球大会は、野球場を指定管理している太田町生活リゾート株式会社が自主事業ということで、管理の中で地域に貢献したいということで開催しております。太田地域としても応援しているものであり、太田町生活リゾート株式会社でも今後も続けていただけるものと思っていますし、こんな形で次回からも応援していきたいと考えています。

それからもう1点ですが、他の地域からの支援はありません。ただし、要項にあるように大曲高校のグラウンド、六郷高校のグラウンドや八乙女球場を使わせていただいておりますので、間接的には応援いただいております。

(高橋清一郎会長)

他にありませんか。もしなければ、医療エリア街路樹移植事業、東北地区高等学校親善招待野球支援事業については、承認いただくということによろしいでしょうか。

【 異議なしの声あり 】

それでは、この2件は承認いただきました。

続いて、シンボル花壇整備事業についてのご質問をお願いします。

(高橋文子委員)

資料4のシンボル花壇整備事業ですが、立て看板を設置するということですが、花の時期が終わった後はどのようにするのか知りたいのですが。

(小松太田公民館長)

シンボル花壇の場所は、消防分署があったところの交差点の西側、石碑がある空き地を予定しています。看板、植栽については、おおた花の会と協議しながら進めていくこととなります。詳しいことはまだですが、交差点の傍になりますので、看板の設置については、交通の邪魔にならないようにと検討していきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

(高橋清一郎会長)

はい、花の会とも相談しながら進めていくということのようです。他にございませんか。

(大信田孝文委員)

高橋（文子）さんの質問を、私は、看板とか花壇の冬場の管理をどうするのかということで質問したと捉えたのですが、あそこは除雪のときに雪を盛り上げたりするので、看板とか壊れそうなものは冬対策ではずしたり春には付けたりするものなのか、そのまま通して設置しても大丈夫な耐久性のあるものなのか質問します。

(小松太田公民館長)

今の信田委員のお話のとおり設置する場所は、雪の心配がありますので、看板は道路側でなくて奥側に取付けすることになろうかと思います。その場合、一年中取付けの状態にするのか、それとも冬の間は取り外しができるようにして、除雪とか雪が降っても破損しないようなものにするのか、これから検討していきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

(高橋清一郎会長)

はい、よろしいですか。他にありませんか。ないようですので、シンボル花壇整備事業につきましても、ご承認いただきたいと思いますと思いますが、如何でしょうか。

【 異議なしの声あり 】

はい、ありがとうございます。それでは、次の太田地域イベント用品整備事業に関してのご質問をお願いします。

(高橋悟委員)

初めて来て少しお聞きしたいことがあります。イベント用の備品の購入については、何ら反対することはありませんが、保管管理の方法はどのようになるのかお聞きしたいと思います。

(高橋市民サービス課長)

イベントとなると秋まつり、夏まつりをしています。スタッフとして観光協会、商工会、支所の職員が中心となっています。実際、秋まつりとなるとかなり量が多くて、水防倉庫には机が30とかイスは40か50くらいありますがかなり傷んでいますし、野球場のそばの交流プラザ、奥羽山荘のふれあい館、スキー場までとかなり広範に机、イスを集めないとイベントは特に秋まつりは出来ないような状態です。今回は、軽いイスと丸イスを水防倉庫に保管して管理することになるかと思えます。大事に扱っていただけるようにしていきたいと思っています。

(高橋清一郎会長)

高橋さん、いいですか。他にございませぬか。ないとすれば、太田地域イベント用品整備事業に関しても、ご承認いただいたということでもよろしいでしょうか。

【 異議なしの声あり 】

それでは、次に大台スキー場基本計画作成事業について審議します。皆さんから何かご意見ございませぬか。

(大信田孝文委員)

この計画、プロの設計の方が基本計画を作成すると思いますが、その中身については、地域枠予算でできる事業もあるでしょうし、市が取りかかるような大がかりな計画も出てくるだろうし、そのすみ分けが出来るのかなと感じています。そのなかでより良い太田の自然を生かした色々な取り組みは大変結構なことだと思っています。

(高橋清一郎会長)

私からも、議長の立場で申し訳ありませんが。この基本計画策定に地域枠予算を活用するという事は、非常に重要なことではないかと思えます。全体の計画を、各団体からいろいろなものを出してもらって、そしてそれを具体化する。市に要望していく、県に要望していくという形に進んでいこうと思えます。そういう面で太田の地域枠で計画を作って、皆でどういう大台山を作っていくのかとか、真木溪谷を作っていくのかとか具体的に進むということのようですので、私も大変良かったなと思えます。

(水谷英明委員)

私も、もっと早く開発してもらえれば良いなと思っていました。これを進めていくときの要望ですが、多分、お客さんを集めるためにすることだと思えます。地元の人はもちろんですが、周りの市の人とか他県の人とかお客さんになりそうな地域の方の意見を取り入れられるようにしていただければいいと思えます。

(高橋市民サービス課長)

公園とか自然のことについて設計する方が担当になりますので、ある程度そうした部分は取り入れてもらえると思えます。

(高橋清一郎会長)

他にございませんか。ないようですので、大台スキー場基本計画作成事業についてもご承認いただいたものといたします。

それでは最後の事業、太田の夏まつり支援事業です。これについてのご質問、ご意見お願いいたします。

この夏まつりには、私も実行委員として入っております。昨年までは商工会から助成金が10万でしたが、それが5万円に減っています。なかなか各団体も大きくなると以前のようにはいかないようです。それで私ども頑張って協賛ということで地域の会社からいただいております。地域の会社、団体も1年に1回のお祭りなので、夏まつりをみんなでやりましょうということで快く協賛金を出していただきました。そういうことで、地域のお祭りとして作り上げていきたいと思っております。

(高橋市民サービス課長)

秋まつりと同様、子供たちにお祭りの雰囲気を楽しませたいということで、子供たちが主体ということで、今回3回目となりますが東今泉八幡太鼓のオープニングで始まり、太田分校の郷土芸能部も出演していただけるということです。出店も分校の農産物を出品して販売する予定でおります。まだ3回目ですので、徐々に内容の濃いものにしていきたいし、楽しめるようなイベントにしていきたいと思っております。実行委員長さんはじめ、太田を元気にする会も頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

(高橋清一郎会長)

何かご質問ございますか。もしなければ、太田の夏まつり支援事業について承認をお願いいたします。よろしいでしょうか。

【 異議なしの声あり 】

ありがとうございます。ということで、6事業すべて承認をいただきました。

●その他

(高橋清一郎会長)

次第6「その他」ですが、事務局から何かございますか。

(草薙支所長)

今日の資料にはありませんが、この後、執行させていただきたいことがありまして、ひとつ提案したいことがありますので、会長、申し訳ありませんが時間とっていただいてもよろしいですか。

(高橋清一郎会長)

はい、お願いします。

(佐藤農林建設課長)

農林建設課の佐藤です。例年、発生しておりますが、お盆過ぎになりますとこの地区は山からクマが下りてきます。去年は被害者も出てしまいました。ということで、東小学区、北小学区の方から登下校時、非常に不安であるという声が昨年から寄せられています。当地域には捕獲用の檻が1個ありますが、何せひとつなものですから広い山裾野に、例えば永代方面につけておりますと去年は斉内川に出てしましまして被害にあったわけですが、そちらから外してくると、今度は永代惣行地区の方が不安であるというような話になりまして、もう1個あれば大変助かるということでございます。これは獲ることが目的ではありません。あくまでも地域住民の安全のためということで、ご理解をいただきたいと思います。何分、今のクマは下りてきて美味しいものを食べてしまうと山に戻らないという習性になりまして、冬眠するまで川などに住みついてしまうという習性になっているようですので、非常に危険だということを考慮していただきまして、ご協力いただければと思います。

(高橋清一郎会長)

クマの対策協議ということ、執行する前ということ、説明がありました。これについて、皆さんいかがでしょうか。特別なければ、安全を守っていただくということで、承認いただきたいと思います。その他で、ほかに事務局の方からありますか。

(事務局)

今のクマの檻の件も含めまして、次の協議会の案件としましては、毎年開催しています太田地域文化講演会ですが、9月17日に小松ばね代表取締役会長の小松節子さんを講師に迎えて開催の予定ですので、9月の初めに開催したいと思います。また、会長、副会長さんには本庁の総合政策課から通知が送られていると思いますが、8月9日、大変ご難儀をおかけいたしますが、今年から立ち上がっております各地域の地域協議会の会長と副会長が集まりまして、意見交換、情報交換をする大仙市地域協議会連絡会議が開催されることになっています。

(高橋清一郎会長)

それでは、事務局の方からはその他として終わりでもいいですか。委員の皆さんの方からその他として何かありますか。

(大信田孝文委員)

現在、旧太田保健センターの建物がありますが、その建物の活用方法についてですが、保健センターが撤退して、中仙に集約された形になっています。旧保健センターは、ほぼ集団検診とかくらいしか活用している例がなく、勿体ない施設と捉えていましたが、今、放課後児童クラブに活用されているようです。そういうなかで、私なりに提案したいこととして、他の地域も含めてですが、地域住民、特に高齢者の居場所づくりということが、他の地域でも盛んに行われております。たとえば大曲の花火庵、のびのびランドということで誰でも気軽に立ち寄って、お茶飲み話をしたりできる居場所として反響を呼んでいます。そういう意味で太田でも、そういう場所が必要なのかなということがひとつあります。それと併せて、公共の交通機関というのが、なんか2、3年後には長信田線もなくなるような話も聞こえてきて、所謂、路線バスがなくなって、太田のコミュニティバスも週1回、各集落を回ってきていますが、診療所の受診でコミュニティバスを利用して朝出かけて、帰りは午後になるので、弁当持参で診療所の待合室でご飯を食べているような状況があります。高齢者の方々が、あまり家から出たがらない。隣近所に話し相手もない。所謂、閉じこもりの高齢者が今後も増えていくのかなという予測も立つわけですが、たとえば保健センターを、そういう誰でも簡単に立ち寄ったり、知らない同士がお茶飲み話を交わしたりできる居場所として活用できないものかと考えていました。それから高齢者が買い物に難儀をしているということで、コミュニティバスを利用して買い物に行ったついでに、ちょっと立ち寄ってコミュニティバスの出発時間まで茶飲み話をする、趣味の何かを

するというような居場所として活用できるのではないかと捉えています。今後も社会福祉協議会でも、そういう場所が確保できれば、世話役とか日々のボランティア的な部分もある程度配置計画を立ててやれるということなので、市で施設をそういう目的のために、利用を許可してくれるのか分からないことなので検討をお願いしたいという、皆さんいろいろ意見があるでしょうが、私としての要望です。

(高橋市民サービス課長)

前に社協と民生委員の会長さんから太田診療所の入院施設が空いているということで高齢者のサロンの使用できないかと話があって、その時は無理だったようです。その後に健康増進センターが中仙に移って、空き状態となっています。今は放課後児童クラブが使わせてもらっていますが、夏休みで健康診断があり公民館へ移動しています。あそこは、駐車場を横切ったりする車も多いし、子供たちにとって環境的には危険もあります。コミュニティバスもかなり経費がかかっています。保健センターには社会福祉協議会が入っていて、事務室は空いていて、東側には機能訓練室がありますので、高齢者サロンの使い方、ふれあいの場として位置的にもいいと思いますし、コミュニティバスの利用も含めて、一石二鳥、三鳥にもなると感じますので、検討していきたいと思っています。

(高橋清一郎会長)

ただ今の説明でよろしいですか。前向きに進めてもらえればと思います。皆さんのほうから他にございませんか。そうすれば、ないようです。この6事業ともう一つのクマの対策について承認いただきました。ありがとうございます。

●閉会（高橋市民サービス課長）

お忙しいところ、本日はありがとうございました。また次回のお出席もよろしくお願いいたします。これで、第2回太田地域協議会を閉会いたします。

会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

会議録署名委員 _____ 富木 勇 _____

会議録署名委員 _____ 水谷 英明 _____